

動力

～今、この瞬間に全力～

第48号 2022. 8月

雄飛

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 高井賢一 編集責任者：小谷泰樹 第48期 広報委員会



鳥取県西部中小企業青年中央会
第48期会長 高井 賢一

【所属企業・役職】 美酒佳肴 ゆらく 代表
【入会年度】 平成 17 年 6 月 (平成 16 年度)
【中央会経歴】 平成 26 年度 副委員長
平成 28 年度 委員長
平成 29 年度 県出向理事
平成 30 年度 副会長
令和 2 年度 副会長
令和 3 年度 監事



ご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会、第48期会長を務めます高井賢一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。当会は「英知・友愛・団結」の綱領のもと、47年の歴史を重ねてまいりました。近年は3期にわたり新型コロナウイルスの感染やロシアのウクライナ侵攻、インフレの加速など様々な社会情勢により、多くの選択や決断を迫られながらの会の運営となっておりますが、そんな中でも歩みを止めることなく活動を行ってまいりました。48期も同様の環境下でのスタートとなりますが、50周年に向けて歩を進めてまいります。

今期、48期のスローガンは「動力」です。「動力」とは「勇気を持って自ら動く力」「地域を動かす力」です。この力は当会に脈々と受け継がれる力だと私は考えております。決して平坦な時代などなく、我々の諸先輩方がその時代時代の課題や問題に臆することなく、勇気を持っ

て動き、この地域や地域経済を動かしてこられたからこそこの「今」があります。今期もこの「動力」を止めることなく大きく前進できるその機会を逃さぬよう、全開で回していく所存でございます。

そして、テーマを「今、この瞬間に全力」と致しました。明日、今日と同じ状況が訪れるのかわからない、そんな時代だからこそ、当たり前のようにある今、この瞬間を全力で感じ、全力で学び、全力で楽しみ、成長していける一年間としてまいります。

最後になりますが、当会は地域のため、会員企業のため、そして会員自身のために、皆で考え、学び、活動して参ります。OB会員の皆さま、各関係者の皆さまの引続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶と代えさせていただきます。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

委員長ごあいさつ



総務委員会

委員長 野口 健太郎

野口電工 代表
平成21年度入会
平成23年度 副委員長

第48期総務委員会の委員長を務めさせていただきます、野口健太郎です。当委員会は来賓、OB会員の皆さまをお招きしての例会を担当する重要な委員会であると考えます。コロナ禍において制限がある中ではありますが、出来ることを精一杯考え、現役会員と来賓、OB会員の皆さまとの架け橋となれるよう、委員会メンバーと共に活動していきたいと思っております。1年間よろしくお願いいたします。

(あなたにとっての動力は何ですか)

私にとっての動力とは、仕事柄、電気の動力電源を思い浮かべました。動力は工場や店舗の大型機器や業務用機器等を使用する際になくてはならないものです。中央会の事業を行う際にも、会員が動力となる事が必要だと考えます。



担当副会長
恵比木 健

㈱松本油店 課長
平成27年度入会
平成29年度 副委員長
平成30年度 委員長
令和元年度 専務理事
令和2年度 副会長



広報委員会

委員長 景山 貴司

㈱カミナリ 広告プランナー
令和元年度入会
令和3年度 副委員長

48期広報委員会の委員長を拝命致しました景山貴司です。当委員会では「KYOUTOU～共闘・協討・響答～」をテーマに掲げ、目標に向けて共に闘い、協力しながら討論を交わし、そして「皆様の心に響く広報活動とは何か？」その答えを探し求めることを一年間かけて活動してまいります。これまでたくさんの方々が築き上げられてきた歴史ある広報誌を尊重し、より一層楽しみにしていただける広報誌の作成を心がけてまいります。最後に、皆様にはご多忙の中、広報誌作成のための原稿依頼・取材・撮影で多々ご協力をお願いすることがございますが、その際にはお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

(あなたにとっての動力は何ですか)

ありきたりな答えですが私を動かす1番の動力は、家族の存在です。先日第3子となる男の子も誕生しました。いつも快く中央会活動を応援してくれる妻の存在と元気いっぱいの笑顔でいてくれる子ども達が私にとって大事な動力です。



担当副会長
小谷 泰樹

㈱シー・アンド・エヌネクスト
営業統括リーダー
平成24年度入会
平成30年度 副委員長
令和元年度 委員長
令和3年度 副会長



政治行政委員会

委員長 高見 秀幸

㈱さんれいフーズ 副参事
平成30年度入会
令和3年度 副委員長

第48期政治行政委員会の委員長を拝命いたしました高見秀幸です。鳥取県西部地域は課題先進地域だと言われています。この地域の未来を考えると勇気を持って今、行動するべき時だと考えます。

今期の当委員会は「人口減少問題」に焦点を当て、委員会テーマを「勇気～真剣勝負でいこう～」として勇気を持ち、我々の手で「新しいパワフルなふるさとを創る」ための活動をしてまいります。

地方とはポテンシャルを秘めた存在であると思っております。このポテンシャルを呼び覚ますことができるかできないかは、我々会員一人ひとりの力量と行動にかかっているのではないのでしょうか。現代のトレンドや来るべき未来を想定して真剣勝負で取り組んでいきたいと思っております。一年間よろしくお願いいたします。

(あなたにとっての動力は何ですか)

私にとっての動力は笑顔です。色々な笑顔がありますが、大きな声で笑いあえたら最高です。特に、今期は委員長として真剣勝負である委員会の場を経て、委員会メンバーと笑顔で語り合える時間を動力として元気を出していきたいと思っております。



担当副会長
宇佐見 啓輔

エレックス㈱
執行役員
システム部 部長
平成30年度入会
令和2年度 副委員長
令和3年度 委員長

委員長・専務理事ごあいさつ



リベラルアーツ委員会 委員長 高岩 雄一

有いけまつ環境 代表取締役
令和元年度入会

第48期リベラルアーツ委員会、委員長を仰せつかりました高岩雄一です。高井会長の掲げられるスローガン“動力”のもと、委員会メンバーとともに今、この瞬間に全力で活動してまいります。中央会には、たくさんの個性が集まり、輝いています。さらに、会員の皆様の潜在しているグッドポイント、性格など様々な側面から多様性を見出し、個々の総合力を高め、組織の中で活躍出来る人材のイノベーションを起こしてまいります。1年間という期間はあっという間ではございますが、仲間と共に挑戦する時間を通して、絆と笑顔を作っていければ幸いに存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(あなたにとっての動力は何ですか)

私にとっての動力は家族です。朝起きると子どもたちも起きてきて、妻が朝ご飯を作ってくれています。そうして、家族それぞれの1日が始まり、また同じ家に帰ってきます。私にとって家族は日々頑張るための原動力です。



担当副会長 谷村 祐也

美保テクノス㈱
営業部 主任
平成30年度入会
令和2年度 副委員長
令和3年度 委員長



動力委員会 委員長 明穂 真一

境港海上無線㈱ 専務取締役
平成30年度入会

第48期動力委員会、委員長をさせていただきます、明穂真一です。一年間宜しく願いいたします。当委員会のメインテーマを「動かなくていいんですか?」としました。このテーマは私自身の中央会活動における後悔の念でもあり、今後中央会を担っていく委員会メンバーへのメッセージでもあります。また、新入会員をはじめとする委員会メンバーには、先輩方から受け継いだ中央会魂を継承していくこと、それも今後の動力の源だと考えます。私事ではありますが、第48期がラストイヤーです。委員長、卒会予定者という大きな武器を振り回し、委員会メンバーを巻き込んで、動きまわります!高井会長そして中央会の「動力」に、俺はなる!・・・ように頑張ります。

(あなたにとっての動力は何ですか)

私の動力、それはやはり、ゴルフ・・・家族です!子供二人が県外に出てしまい妻と二人の時間が増え、20代とは違うゆっくりとした時間。それが私の動力となっています。なんだか、惚気てしまいました。



担当副会長 景山 慎也

サンククリーン㈱
常務取締役
令和元年度入会
令和2年度 副委員長
令和3年度 委員長



専務理事兼会計担当理事 安達 信彦

㈱平設計 設計課長
平成28年度入会
平成30年度 副委員長
令和元年度 県出向理事
令和2年度 委員長

第48期専務理事兼会計担当理事を拝命いたしました、安達信彦と申します。専務理事という大役を仰せつかり、その大きな役目の責任を実感しております。これまでの中央会生活の中で多くの諸先輩方や仲間たちから学んだ事、委員長をはじめとする様々な役目を通して経験した事を活かし、高井会長、三役・役員の皆様、そして、会全体をしっかりとサポートしてまいります。依然としてコロナ禍の取束には至らず、以前と同じ活動とはいかない中ではございますが、コロナ禍で培った経験を活かし、Withコロナの時代での活動を模索してまいります。そして、目前まで迫った50周年に向けて高井会長が掲げたスローガン「動力」活動テーマ「今、この瞬間に全力」を会員一丸となって体现できるようにしっかりと大役を務めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

(あなたにとっての動力は何ですか)

私にとっての動力は、より良いものづくりをしたいという欲求です。仕事柄、考えるという事が尽きない職業ですが、只々時間をつぎ込む事で解決するものではありません。終わった仕事を振り返り、改善点を探し、次の仕事に繋げていく事。そのサイクルは中央会活動にも共通する事であり、しっかりと両立していきたいと思っております。

令和4年度通常総会『彩』から『動力』へ

令和4年7月14日(木)、ANAクラウンプラザホテル米子にて令和4年度通常総会が開催された。

冒頭の第47期奥森会長の挨拶では「48期がスタートした。まだコロナ禍等により落ち着いた状態にあると思うが会員一丸となり、長い年度を盛り上げていくようお願いしたい。そして、本日は47期総務委員会が最後の仕事として、しっかりとした卒会式を準備している。卒会の皆さまは本日は思い出に浸りながら過ごしていただきたい」と述べられた。

続いて、新入会員バッジ授与式が行われ、田中久昌会員が西部青年中央会の新たな一員となった。

その後、通常総会が開会され、議長に選出

された第47期足立副会長の進行の元、第47期住専専務理事から第1号議案【令和3年度年度事業報告、ならびに収支決算承認の件】の報告、続き第48期安達専務理事より第2号議案【令和4年度事業計画、ならびに収支予算書(案)承認の件】について説明がなされた。両議案とも、満場一致にて承認され、通常総会は滞りなく閉会した。

続いて特別功労賞が山口参与に授与された。賞を受賞した山口参与は「賞は第47期卒会者を代表して受取ります」と感謝を述べられた。また、会長バッジ授与式があり、第47期奥森会長が第48期高井会長の襟元に金バッジを授与された。精勤賞授与では、新井会員が代表し受取られた。続いて、皆勤

賞授与が行われ、川口会員が代表し受取られた。

最後に委員会表彰があり、優秀委員会には、会員拡大を牽引した政治行政委員会が受賞した。第47期宇佐美委員長より「委員会メンバーの力のお陰です。ありがとうございます」と感謝を述べられた。そして、最優秀委員会は一人ひとりがより考え・行動し、例会出席率もトップであったビジネス経営委員会が受賞した。第47期谷村委員長より「1年間委員会の皆さんが意見を出して、一緒に駆け抜けてくれたお陰です。ありがとうございます」と思いを伝え委員会表彰を締めくくった。これにて、令和4年度通常総会は終了した。

(記事:水野)



卒会式『晴ればれと7名が卒会』

通常総会に続いて卒会式が行われた。この日、山口尚文会員、蓼本満梨子会員、三嶋秀文会員、堀尾一仁会員、岡田英憲会員、柏木克仁会員、濱真一会員の7名が晴れて卒会となり、第47期奥森会長より卒



会者へ卒会証書と記念品、そして花束が贈呈された。奥森会長から祝辞として「長い間本当にお疲れ様でした。本日をもって『青年』から『中年』に変わられる皆様(会場が和む)は、どうかお身体をご自愛頂き、更にご活躍されることを祈念いたします。また、これからも現役会員を暖かく見守っていただきたい」との言葉が贈られた。

続いて、卒会者代表挨拶として堀尾一仁会員より現役会員へ「コロナ禍にもか



かわらず、多くの会員に見送っていただき感謝いたします。入会してから本日に至るまでの7年間、振り返るとあっといふ間の中央会生活でありました。素晴らしい仲間と共に様々な役目を全うすることができました。また、会歴の浅い会員は積極的に活動に参加し、公私ともに全力で取り組んでほしい。最後に、本当に大好きな中央会のことを今後も気にかけて、応援していきます」との言葉が贈られた。その後、濱真一会員から奥森会長へ目録が渡され、3年振りに通常開催となった卒会式は、こうして無事に幕を閉じた。

(記事:大江)

懇親会『OB多数の中、高井会長所信表明』



総会、卒会に続いて、OB会員を迎えて和やかな雰囲気の中、懇親会が開催された。

冒頭、高井会長より、今期のスローガン『動力』テーマ『今、この瞬間に全力』について発表があり「動力とは勇気を持って自らが動く力、地域を動かす力、全力で感じ、全力で学び、全力で楽しんでいく1年にしていき、50周年に向けて伝統の歩みをさらに進めてい

くことを約束させていただく」と会長として力強く決意を述べた。

続いて、福田一哉OB会長より、第47期奥森会長を労った後「混沌とした時代の中はあるが、自由な発想と大胆な行動こそが若者の特権であり、それを存分に生かして荒波を乗り越えていただきたい」と挨拶があった。そして足立統一郎OB会員の乾杯の発声で懇親会が始まり、



新役員ならびに卒会者の紹介、皆生トライアスロン壮行会では、今回出場する選手へ向けて応援団とともに会場全体よりエールが送られた。また、恒例となっている新入会員アトラクションでは光のサイリウムを使ったパフォーマンスが披露され、新年度の成功を願った。

そして盛況の中、浜田一哉OB副会長の申す中締め挨拶をもって懇親会は閉会した。そして第48期西部青年中央会の歴史が幕を開けた。

(記事:尾関)



鳥取県中小企業青年中央会 通常総会・お披露目式

令和4年7月27日、ANAクラウンプラザホテル米子において、鳥取県中小企業青年中央会 令和4年度通常総会がZOOM配信とのハイブリッド方式で執り行われた。

冒頭47期永井県会長より、47期中に執り行った県事業ならびに、コロナ禍においての社会情勢を踏まえた事業運営の成果を、中央会の仲間同士の「感謝」「助け合い」という言葉で振り返り挨拶とした。続いて、第1号議案～第3号議案の決議を行い、満場一致での「異議なし」のかけ声のもと議案は全て承認となった。最後に、48期安岡県会長より議案承認について謝辞が伝えられ通常総会は閉会となった。



47期永井県会長



県副会長へ盾の贈呈が執り行われた。また、48期安岡県会長より令和4年度に向けて挨拶があり、今まで自己研鑽と仲間づくりをしてきた中央会生活から、テーマを「人～繋がり、繋げる」とし、50周年を目前とする中での東部・中部・西部の更なる団結を呼びかける力強い言葉で所信を表明し



48期安岡県会長



た。続いて、48期中村県専務理事より、48期県出向理事がお披露目をされ、西部からは中西県出向理事・下村県出向理事・石田県出向理事そして、木嶋県出向監事の4名が紹介された。そして、東部 西原会長よりテーマ「存在を示せ～互いの魅力を分かち合う～」のもと6委員会、中部 三嶋会長よりテーマ「再構築～温故知新～」のもと3委員会、西部 高井会長からテーマ「動力～今、この瞬間に全力～」のもと5委員会、それぞれ各地区の委員長から所信表明がされ、お披露目式は「よっ!」という合いの手の声の出る中、和やかに閉会となった。

(記事:狩野)



県出向理事



下村 英一 会員
山陰建設サービス(株)
営業部 営業二課 課長
(平成29年度入会)
令和元年度 副委員長
令和3年度 委員長



石田 倫章 会員
ウィルビー(株) 課長
(平成24年度入会)
平成27年度 副委員長
令和元年度 委員長



中西 悠介 会員
(株)LABO 工事部次長
(平成28年度入会)
平成30年度 副委員長
令和2年度 委員長
令和3年度 県出向理事

県出向監事



木嶋 康之 会員
(株)D・I・P
(平成23年度入会)
平成25年度 副委員長
平成27年度 県出向理事
平成29年度 委員長
平成30年度 県出向理事
令和2年度 専務理事兼会計担当理事
令和3年度 副会長



第40回 全日本トライアスロン皆生大会

去る7月17日、第40回全日本トライアスロン皆生大会がコロナ禍で3年振りに開催され、中央会からは「チームTSC」（山根会員、石田会員、津村会員）が参戦した。この暑さの中、コンディションに不安を抱えたメンバーもいたが、チーム一丸となって見事完走。一生懸命にゴールを目指す姿は、その場にいた全員に勇気と感動を与えた。また、ボランティアスタッフとして各所で中央会会員、OB会員が奮闘。文字通り「アツイ1日」となった。（記事：尾関）



第40回 全日本トライアスロン皆生大会を終えて

リベラルアーツ委員会 山根 壮 (株)ヤマネ産機 常務取締役

スイム担当の山根壮です。初め石田会員から「スイムで出て下さい」とお誘いを受け、それから毎日昼休憩と夜の二部練を行い、なんとか3キロ以上泳げる体に仕上がりました。

本番当日で海の状況が悪く、急遽ファーストラン(6.9キロ)に変更になってしまいましたが、貴重な経験ができました。何よりこうして参加できたのも家族、会社、中央会メンバー、ボランティアスタッフの方々のお陰だと改めて実感しました。ありがとうございました。本番1週間前に5万円のウエットスーツを購入して準備していましたが、着用できなくて残念でした。またいつかチャンスがあればそれを着てスイムで完走したいです。

総務委員会 石田 倫章 ウィルビー(株)

まず、チームとして無事完走する事ができ、安堵しております。個人の成績については、例年とレギュレーションが異なるため単純比較ができない事もあり、あまり気にしておりません。

それよりも、3年ぶりの大会を開催できた事。そしてそれに参加できた事の喜びの方が強いです。そしてそれは、周囲を走る他の選手達からもひしひしと伝わってきました。例年のビリビリした感じではなく、どの選手も楽しそうに走っていたように感じられたのが今大会の印象です。

大会の運営方法が変わり、また中央会の関わり方も変化していくと思います。どのような形であれ、数多くの人が心待ちにしているこの大会に携わっていただければ良いかと、改めて思いました。

リベラルアーツ委員会 津村 侑吾 米子市役所 主任

たくさんの応援ありがとうございました。また、暑い中ボランティア等ありがとうございました。おかげさまで、チーム全員で完走することができました。

苦しいとき、ASや沿道からの応援がこんなにも力になるのかと再認識いたしました。その中でも一番記憶に残っているのはやはり弓ヶ浜展望台ASでのケンタッキーでしょうか。某エナジードリンクではありませんが、チキンということで「翼」を授かった気がします。

中央会に入会させていただいてから1年弱でようやく爪痕を残せたように思っております。ですが、48期もまだまだ始まったばかり、、「動力」の一部となれるようがんばりますので、引き続きよろしく願いいたします。『パワー!!』



第40回 全日本トライアスロン皆生大会を終えて

実行委員長 山口 尚文 山進運輸(株) 代表取締役社長



三年ぶりの開催・コースの変更など難しい判断や対応などが多かった皆生トライアスロンですが、無事に当日を迎え、私たち中央会も運営に大きく貢献できたことを喜ばしく感じておりますし、正直いうと安堵しております。会員の減少に伴って、これまで通りのやり方が困難になってしまっている上に、皆生トライアスロンのボランティア経験のない会員が増えている状況下で大きな不安をかかえながら進んで行きましたが、大幅な組織変更での取り組み、各部の部長など新たなリーダーの誕生など中央会の力強さを改めて感じる機会となりました。

最後に、その時々で出来ることを楽しみながら皆生トライアスロンと関わり続けられることを願っております。



ボランティア部長

専務理事兼会計担当理事 安達 信彦
(株)平設計 設計課長



今大会も皆さま大変お疲れ様でした。40回目の記念大会は3年振りの開催であり、コースを含めてこれまでとは大きく変わった大会でもありました。そして、空白期間とコロナ禍の影響により、大会前からボランティアの減少が見込まれ、実際に例年の半分程度まで落ち込みました。その中でも各担当のリーダー、サブリーダーがしっかりと引張りながら準備を行い、大会当日も多くのOBの方々にサポートしていただきました。初めて参加する会員も多い中、今回の経験が次に繋がる大会になったと感じます。ボランティア部としてまだまだ改善する所は多いですが、まずは大会を支える重要な役割を完走していただいたメンバーの皆さまに感謝の言葉を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

大会当日まで必死に業務マニュアルを確認しながらの作業でしたが、他部署との連携等まだ改善の余地があると感じたのと同時に、中央会の連携の素晴らしさを改めて感じました。安達部長率いるボランティア部、高田部長率いるAS部、準備から当日まで多くのご協力を頂いた皆さまに本当に感謝しています。ありがとうございました！

マラソン部長

動力委員会 木嶋 康之
(株)D・I・P



第40回大会のマラソン部長を務めさせていただきました木嶋です。前日の天気は豪雨でしたが、当日は大きな事故やトラブルもなく無事大会を終えたことに、ほっとしています。3年ぶりの大会また、コース変更とあってだいぶ忘れていた部分も多かったですが、少数精鋭となったマラソン部員に助けられなんとか乗り切ることができました。

大会当日まで必死に業務マニュアルを確認しながらの作業でしたが、他部署との連携等まだ改善の余地があると感じたのと同時に、中央会の連携の素晴らしさを改めて感じました。安達部長率いるボランティア部、高田部長率いるAS部、準備から当日まで多くのご協力を頂いた皆さまに本当に感謝しています。ありがとうございました！

AS 部長

政治行政委員会 高田 典宗
(株)高田 管理部長



第40回大会お疲れさまでした。天候が危ぶまれましたが、一部を除いて晴天でトライアスロン日和。選手だけでなく運営やボランティアにとっても厳しい暑さでした。中央会が担当したASではボーイスカウトやガイナレの少年らと一緒に活動していましたが、若いっていいですね!暑さに負けず元気がみなぎっており、コロナの影響で参加できる団体やボランティアの数が少ない中、楽しんで活動していただけたようです。

再び感染爆発の様相を呈していますが、それでも参加して下さった選手やボランティアの方が大勢おられ、本大会の存在って大きいのだと再度実感しました。至らぬ点、反省すべき点は多々ありましたが、皆様のご協力に大変感謝しております。ありがとうございました。POWER!!

Kaike Triathlon

新入会員が見たトライアスロン

Volunteer



動力委員会 児玉誠博
(株)イーサポート 代表取締役

動力委員会 藤原直之
(有)サンワ 常務取締役



この度、中央会に入会させていただき、初めての皆生トライアスロン大会にボランティアとして参加いたしました。そして人生初のボランティア活動であり、人生初のトライアスロンを間近で見る機会でもありました。

大会当日は、ASで飲料の準備、選手の誘導と動いていましたが、参加選手の苦しそうな表情、暑い中必死に前へ進もうとする姿に、感動と尊敬の念を抱いたのを思い出します。中央会の会員のみならず、色々な方がボランティアとして参加されていましたが、選手を応援したいという気持ちが一体感を生み、動いているうちに楽しいとすら思えてきました。

参加する前は開催時期が真夏という事もあり、とても大変なイメージだったトライアスロンボランティア活動ですが、優しく教えてくださる先輩方や、初めてお会いして一緒に活動できた方々のお陰で、とても充実した一日を体験できたと思います。

今回、業務の都合上、最後まで参加できませんでしたので、来年度はしっかりと最後までやり遂げ、皆さんと一緒に達成感を共有できたらと思います。

最後に、第40回皆生トライアスロン大会に参加された選手の皆様、裏方で支えられたスタッフやボランティアの方々、本当にお疲れ様でした。



中央会に入会させていただき1カ月半、皆生トライアスロンのボランティアに参加させていただきました。大会前日の夜中には激しい雨が降り、当日の予報も雨が心配され多少太陽が雲に隠れることはありましたが、無事晴れの中で開催できた今大会でした。

トライアスロンという競技を初めて間近で見て、正に「過酷」という文字がピッタリで、競技者が「鉄人」と言われる理由が改めて理解できました。

また、普段からよく耳にする言葉にこんなにも感動するものかと思いました。それは「ありがとう」です。疲労困憊し返事をするだけでも苦しい中、選手から言われた感謝の言葉。これも間近で見て大変さが伝わるからこそ感じたことです。

外から見ただけでは分からない、参加しないと味わえない事が改めて認識できました。行事や人との出会い等、様々な機会を与えていただける中央会に感謝し、今後もチャンスがあれば積極的に参加しようと思います。

本大会は事前活動も大詰めの段階でしか携われなかったのですが、次大会は事前準備も始めから参加し、大会当日には選手を一番に考えて精一杯サポートしたいと思います。

本大会に携われた皆様、本当にお疲れ様でした。

〈新入会員〉

	た な か ひ さ あ き 田 中 久 昌	AB型
	(株)工房AZ 店主 建築管理技術者 〒683-0835 米子市灘町2丁目52番地5 ☎ 30-3198 FAX 30-3198	
R0407 (R04年度) 入会 (推薦者) 小谷 (泰) 山内 (正)		

〈コメント〉令和4年度7月に入会させていただきました、(株)工房AZ 田中久昌と申します。業務は主に住宅の新築、リフォーム・店舗新築、改装工事の現場管理業務を行っております。様々な業種の方と交流を持ち、共に活動することによって、刺激を得られると思い入会させて頂きました。確実に成長できるよう、活動していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

8月役員会報告

令和4年8月1日(月)米子市公会堂にて8月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- 7月総会、卒会式、懇親会開催の件
- 鳥取県中小企業青年中央会の件
- 8月例会開催の件
- 9月例会開催の件

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

編集後記

委員長として雄飛・ハンサムの発行を携わらせていただきます。これまでたくさんの方々が築き上げてこられた歴史ある広報誌です。継続していくべき財産と、48期ならではの新しい風を融合させ、皆様の心に響く広報誌を全力で制作してまいりますので一年間よろしくお願いたします。

(広報委員会 委員長 景山 貴司)